

## 81松本筑摩高等学校(定時制午前部午後部)

平成27年度学校評価(最終自己評価)

松本筑摩高等学校 定時制午前部午後部

学校教育方針		中・長期目標				
定通の和を尊び、理想の追求を象徴する校章と校歌に示された精神のもとに、 1. 知性の涵養 2. 品性の陶冶 3. 心身の練磨を目的とする。		「心あらたな学び直し」、「限られた時間を活かしての学び」、「働きのながらの学び」を願う生徒が、安心して学習し、社会の一員として生きる力を育成する。				
		今年度の重点目標				
		1. いじめや暴力を絶対に許さない安心安全な学校づくりの推進 2. 挨拶から始まる校内の雰囲気づくりとわかる授業伸ばす指導の実践 3. コミュニケーション力の向上をもとにしたキャリア教育の推進 4. 開かれた学校づくりに向けた一層の工夫と実践				
分野	重点項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策	
学びの保障	わかる授業と学力向上	1 個別指導等により「伸びる力」をさらに伸ばすことができたか。	B	伸びようとする意欲を喚起する工夫が必要	授業改善を進め、意欲を引き出す	
		2 ユニバーサルデザイン的な視点での授業の見直しが行えたか。	B	校内研修会、校外研修会を授業に生かしていない	考え方の理解から具体的な改善の実践	
		3 生徒による授業評価を定期的に実施できたか。	B	年2回の実施をしているが、検証が不十分	評価結果を授業にフィードバックする具体策の検討	
	学び直し	4 ドリル学習を組織的・系統的に指導できたか。	C	ドリル学習についての議論が深まらなかった	研修会などの機会での職員の意思統一を図る	
		5 基礎学力テストを実施し、定点観測ができたか。		28年4月実施予定		
安心・安全	チームによる指導	6 一人の生徒に複数の職員がかかわり、関係機関とも連携を図りつつ向き合えたか。	A	チームで対応するケースでは連携がスムーズにできた	学年、教科、係のチーム力のアップ	
		7 生徒の変化や小さな気付きを職員間で伝え合えたか。	B	生徒に寄り添う指導が実践されている	情報の共有化とチームでの指導をさらに進める。	
	情報の収集	8 学校生活、携帯電話などに関するアンケートを実施し、生徒の内面の理解に努めたか。	B	生徒の願いを把握する機会が増えた。	結果の集約を個人の支援につなげる	
		9 いじめ・体罰の根絶に向けて定期的に点検ができたか。	B	いじめにかかわる事案は発生していない。	定期的な調査、情報の早期把握にさらに努める。	
		10 ネット社会で被害者にも加害者にもならないための指導ができたか。	B	講演会、学習会で意識が高まった	継続的な指導が必要	
交通安全意識の高揚	11 交通事故に遭わないための指導を継続してできたか。	A	事故件数が減少した	継続的な指導が必要		
自立への支援	SSTの実践	12 「挨拶」「人の話を聞く」を日常の中で生徒と教師がともに実践できるSSTとなったか。	A	特に挨拶の大切さを再認識させる指導ができた。	参加に消極的な生徒に対する動機づけの工夫。	
	学校生活の支援	13 見通しの持てる学校生活、わかりやすい授業の工夫を常に意識できたか。	B	生徒に応じたコミュニケーションの方法を工夫している	わかる、楽しいを学びたい成長したいにつなげる	
	個別の指導計画とチームでの支援	14 対象生へのアセスメントや具体的な支援の方法を共有できたか。	A	具体的な支援の仕方について研修会が持てた	対象生への支援についても考えることができた	
	カウンセリング研修	15 対象生への支援を通して他の生徒への声かけや効果的な支援が増えたか。	B	対象生を意識することで他の生徒への声かけが増えた	それぞれの生徒についての情報共有をさらにすすめる	
		16 医療専門機関との研修を通して医療と学校との連携の仕方について学べたか。	B	他機関との連携を含め、生徒に応じた支援ができています。	相談係、カウンセラーの負担軽減	
17 成人期の発達障害を理解し、快適に生活できる工夫を学ぶことができたか。	B	職員は校内外の研修へ積極的な参加をしている	研修会の持ち方や講師の選定にさらに工夫が必要			
社会的自立	キャリア教育の推進	18 教科、生徒指導、各年次と連携をとりながら推進できたか。	B	計画的な指導はできているが効果が不十分	新しい取り組みを取り入れる	
		19 生徒のキャリア意識調査を実施し、成果を検証できたか。	C	キャリア意識や勤労意識が育ちにくい	効果的な指導の工夫が必要	
	意識の向上	20 体験学習を通して将来の職業や進路に対する意識が高揚したか。	B	生徒の自発的参加が少ない	より効果的な内容を検討する	
		21 進路ガイダンス等を通して将来を見通した進路を展望できたか。	B	ガイダンスは計画的に実施できているが事後指導が不十分	全体指導を個別の指導につなげたい	
情報の提供	22 進学や求人などの情報を提供し、適切な進路選択への支援ができたか。	B	実際の指導場面では、就職支援員の方に大いに助けられた	支援員配置の予算措置を継続してほしい		
自主活動	生徒会、部活動の充実	23 より多くの生徒が生徒会活動に参加し、独自の企画を立てられたか。	C	例年並みの活動であった	日常的な活動、積極的な校外活動への参加	
		24 より多くの生徒が部活動に加入し、取り組む内容が充実できたか。	C	全国大会出場等実績が上がった	費用面も含めたクラブ活動の運営について再点検が必要	
	文化祭の充実	25 本校に合った文化祭のスタイルを創り出し、生徒の力で実行できたか。	B	執行部の生徒の活躍は素晴らしかった	開催時期、内容等の検討を行う	
開かれた学校	地域との連携	26 公開授業や学校説明会に多くの参加者があったか。	A	学校説明会を9月に設定した	中学校だけでなく地域への働きかけをさらに行う	
		27 社会人講座を設定し、生涯学習の場を提供できたか。	B	社会人講座の受講者が固定化している。	ニーズに合った講座開設の工夫が必要	
		28 地域や社会に学校情報を積極的に発信できたか。	B	地域とのかかわりが十分とは言えない	校種間連携、地域への参加活動機会の開拓が必要	
		29 街路清掃等の実施により地域の環境美化に貢献できたか。	B	参加生徒は熱心に取り組んでいる	地域の中で生徒が育つ仕掛けづくりが必要	